

私たちはこの件について、福田富一知事に対し「公開質問状」を2回提出しました。知事からの回答を含め内容は次の通りです。

平成 25 年 6 月 21 日

民主党栃木県総支部連合会
代表代行 福田昭夫 様

栃木県知事 福田富一

質問状に対する回答について

福田昭夫代議士におかれては、(株)エコシティ宇都宮と私の関係等について2度にわたり質問状を出されましたが、(株)エコシティ宇都宮の設立や企業活動について私は一切関与していません。あらかじめそのことを申し述べた上で、平成25年6月18日付けの質問状について、下記のとおり回答いたします。

質問① 知事がまだ宇都宮市長時代、唐木正信氏は、市長室に出入りしていませんか？

「出入り」という趣旨が定かではありませんが、市長には多くの来客がありましたので、唐木氏の来訪も受けたことがあると思います。ただし、(株)エコシティ宇都宮に関する件で打合せ等を行ったことはありません。

質問② (株)エコシティ宇都宮は唐木氏、普豊建設社長、現在栃木県建設業協会会長をお務めの、中村土建社長等々、福田富一知事の強力な応援団の皆さんが中心となって作った会社ではありませんか？

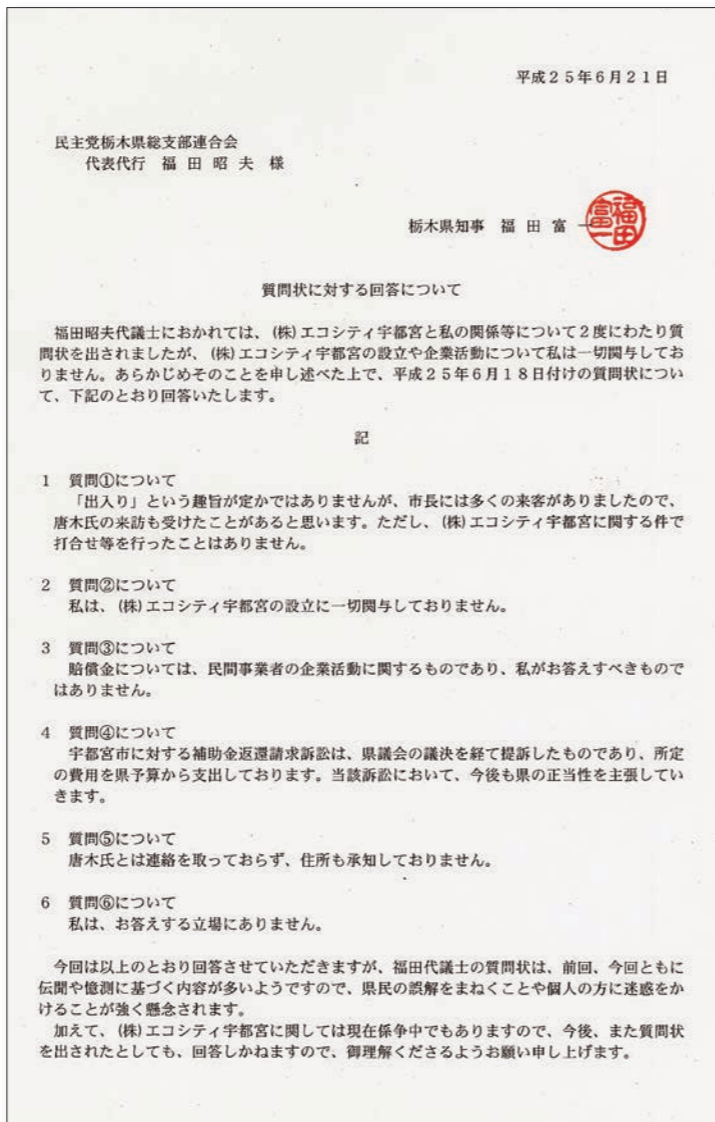
私は、(株)エコシティ宇都宮の設立に一切関与していません。

質問③ 私は、国会の農水委員会において、賠償金の件を質しました。その際、担当局長は県から賠償額の概算を聞き取りしている旨答弁しています。富士重工からの賠償金はいくらでしたか？そしてそのお金はどのように使われ、いくら残っていますか？入金された銀行はどちらの銀行ですか？関係帳簿書類等は把握していますか？

賠償金については、民間事業者の企業活動に関するものであり、私がお答えすべきものではありません。

質問④ 裁判費用は、これまでにいくらかかりましたか？それは県民の税金を使って払いましたか？裁判を直ちに中止する気持ちはありませんか？

宇都宮市に対する補助金返還請求訴訟は、県議会の議決を経て提訴したものであり、所定の費用を県予算から支出しております。当該訴訟において、今後も県の正当性を主張していきます。



質問⑤ (株)エコシティ宇都宮の代表者唐木正信氏とは、現在連絡は取れていますか？現住所は把握されていますか？

唐木氏とは連絡を取っておらず、住所も承知していません。

質問⑥ 県民の血税約2億円の損失を与えた(株)エコシティ宇都宮の取締役、建設業協会会長 渡邊勇雄氏に責任はあるのか、ないのか、知事のお考えをお聞かせ下さい。

私は、お答えする立場にありません。

今回は以上のとおり回答させていただきますが、福田代議士の質問状は、前回、今回ともに伝聞や憶測に基づく内容が多いようですので、県民の誤解をまねくことや個人の方に迷惑をかけることが強く懸念されます。

加えて、(株)エコシティ宇都宮に関しては現在係争中でもありますので、今後、また質問状を出されたとしても、回答しかねますので、御理解くださるようお願い申し上げます。



民主党プレス民主編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
民主党栃木県総支部連合会(広報委員会)
〒320-0043 宇都宮市桜2-1-30
電話 028-627-1700
Eメール minsyu@ace.ocn.ne.jp
ホームページ http://www17.ocn.ne.jp/~minsyu/



県民の皆様、【(株)エコシティ宇都宮】という名前の会社をご存知ですか？

(株)エコシティ宇都宮(以下、エコシティ社)は、宇都宮市内で発生する生ゴミの一部を、民間の処理施設で処理して堆肥化し、生ゴミの資源化を図ろうという目的で設立された会社で、平出工業団地の一角で平成18年に操業を開始しました。裏面の記事でおわかりのように、福田富一知事がまだ宇都宮市長時代に推進した事業で、操業を開始した平成18年には既に知事に就任しています。

世間の注目を浴びつつ、華々しいスタートを切りましたが、結果は僅か2年後の平成20年には、実質的に破綻してしまいます。記事にあるように、福田知事の強力な応援団で役員を固めた会社でしたが、知事の全面的なバックアップにもかかわらず、意外にもあっけなくつぶれてしまったのです。その結果、このエコシティ社内部で様々な問題があったことが、今明らかになりつつあります。問題は驚くほどたくさんありますが、主要な点として以下が挙げられます。

問題① 消えた2億円以上の大金!
エコシティ社が破綻した時点で所得隠しが認められます。手口はきわめて大胆。2億円以上の大金を平成20年度の税務申告から除外しています。そして、その隠した裏金がどこへ消えたのか？誰かに渡ったのか？今の時点では不明です。

問題② 国庫補助金返還問題
この事業には、当時国庫補助金約2億6千万円が交付されました。エコシティ社の破綻に伴い、国は約2億円分を返還するよう県に求めました。そこで、福田知事は、エコシティ社からの返還がまだない平成24年の2月に、県民の税金を使って国に返してしまったのです。この約2億円は未だにエコシティ社から返還されていません。
宇都宮市もエコシティ社に対し、返還を求めて請求書は出していますが、平成24年3月の定例会環境経済常任委員会で、エコシティ社に対し、法的措置を取らないことを明らかにしています。これは、いったいどういうことでしょうか。回収を図るためには、法的措置を取ることは当然のことです。それを放棄するなどということはあり得ないことです。佐藤栄一市長の責任は極めて重大です。今後、公開質問等で責任を徹底的に追及してまいります。

他にも問題はいくつもありますが、県民の皆様には順次お知らせさせていただきます。
裏面もご覧下さい

「エコシティ宇都宮問題」ここに掲載した記事の入手により、これまで一切かかわっていないとしていた福田富一知事の回答が全くのウソであることが明らかになりました。

◎使途不明金二億円超！（収入の一部を税務申告せず）

◎負債総額は十億円超！（元後援会長や現建設業協会会長含む）

◎役員は全員知事の応援団！（元後援会長や現建設業協会会長含む）

(株)エコシティ宇都宮 新工場完成祝賀会 生ゴミ処理施設8月操業へ



唐木会長（手前）以下役員の方々

マロニエの花が街を彩っている母の日の5月14日、宇都宮市内のホテルで福田富一知事、後援会オールキャストでのエコシティ宇都宮新工場完成祝賀会が関係者多数が出席し開催されました。会は、唐木正信会長、岩本勝男社長等同社取締役を努めている方が揃って登壇しました。

構想から5年

唐木会長は、プランが動き出したのは平成13年2月28日でした。それから5年の歳月が流れた。工場の引き渡しは、今月20日なので早めの披露になりました。お集まりの皆様を始め多くの方に本当にお世話になりました。感謝の気持ち一杯です。と感謝を述べ、もったいないの精神を広げる

最先端の技術を集めた工場
来賓の祝辞では、が、環境問題に二石をと平出工業団地に、生ゴミの資源化、堆肥化のため最先端の技術を集めた工場を建設し完成という事でパーティが行われている。佐藤栄一市長の話ですと宇都宮市のゴミ問題はバンク寸前との事です。各ご家庭にもゴミ減量をお願いを続けている中で、生ゴミを別の用途に利用する技術を富一前市長も頭を悩ませていた。エコシティの稼働で一部分だが生ゴミの減量、資源化に繋がります。堆肥化で有機農業につながると述べていました。

地球環境問題等、時期を得た事業

は、中国からの黄砂が原因で結膜炎と風邪を治療中と断り、地球環境問題、資源化と時期を得た事業だ。今日まで一喜一憂の5年間だったが、これからは宇都宮市から世界に向けて環境問題の発信をして欲しいとエールを送っていました。

NECと富士重工の技術を結集

岩本社長による経過報告では、「当社の大株主、マネジメントコンサルタントの

宇都宮市の佐藤市長は、即刻エコシティ社の経営陣を訴えて、補助金返還分約2億円を回収する責任と義務があります。それさえもせず、LRTの推進ばかりを主張するのは、全くもって無責任極まりないことです。民主党栃木県連は、佐藤市長の責任も徹底的に追及してまいります。

◎宇都宮市はエコシティ社の経営陣の責任を追及せず！
◎役員は全員無傷！一円の弁済もせず！

酔、分解、脱臭、堆肥化までを屋内でやる。搬入された生ゴミを総てリサイクル材料に利用する事を目的にゼロミッション施設を最大の目標に考えている。生ゴミ、可燃ゴミ、不燃物の三大分別は富士重工の特許でリサイクルを容易にする。資金面はメイン栃木銀行、サブ栃木信金にお世話になりました。また、宇都宮市にはこれからお世話になります。一等等々と壁面にデータを映写し経過を説明しました。



阿部英夫福田富一後援会総連合会会長

オンズクラブ近県五県の会合から駆けつけ阿部会長に挨拶の後、壇上上がりマイクに向かいました。「この事業は、食

最大の目標は ゼロミッション施設

品リサイクル施設整備モデル事業として国の交付金を受けています。多くの皆様のお世話になっていきます。計画が順調に進み後に続く所が出てくるよう期待しています。構想を聴いた6年の歳月が経過していますが難問だらけの日々でした。こうして宴が開ける事は感慨深いものがあります。生ゴミの分別システムは、たばこのフィルターさえも分別できると途中経過で聴いています。参加各企業の技術の粋が集められている事です。ゴミ減量化、焼却灰の減少、焼却施設の建て替え時の小規模化と言った波及効果が見込めます。事業所生ゴミ処理プラントとして分別、16日間発酵、分解、脱臭、堆肥化までを屋内で済ませる。搬入された生ゴミを総てリサイクル材料に利用する事を目的にゼロミッション施設を最大の目標に考えています。生ゴミ、可燃ゴミ、不燃物の三大分別は富士重工の特許でリサイクルを容易にしています。と熱く祝辞を述べました。

立派な宇都宮、栃木県のために

阿部英夫氏は、壇上マイクを通して健康維持のためにも必要な施設、環境を守るためにフルに回転し立派な宇都宮、栃木県のため末永いご繁栄をと祝詞を述べ乾杯の発声をし全員で祝杯を傾けました。続いて、栃木銀行頭取、栃信理事長等約25通が読み上げられ出席者に披露されました。福田富一栃木県知事は、鬼怒川でライ



祝辞を述べる福田富一知事

福田富一知事は、エコシティ社に代わって、国庫補助金約2億円を、県民の皆様の税金で返してしまいました。こんな理不尽なことがまかり通っているのが、今の県政です。民主党栃木県連は、知事の責任を徹底的に追及してまいります。

●ホームページもご覧下さい。

(株)エコシティ宇都宮についての記者会見等を掲載。

民主党栃木県連

検索

裏面もご覧下さい

(平成十八年「グラフ北関東」掲載記事)